

公民館だより



☎578-1281

犬飼公民館には《公民館主催事業と学級生で運営する公民館クラブがあります。

公民館主催事業は前号までで紹介をいたしましたので、公民館クラブを徐々に紹介していきます。

また、新しく立ち上げることも可能です。いずれも興味のある方は問い合わせください。お待ちしております。

ハーモニカ教室

第2土曜日
9:30~11:00
会費 年 3,000円
講師 後藤重敏

参加ください。また、市内の施設等を訪問し演奏を披露しています。コロナ過で訪問が難しくなっていますが、終息を待って活動を再開したいと願っています。



公民館は、地域住民にとって身近な学習拠点でもあります。また、交流の場としても広く利用していただきたいと思います。新しい公民館の使い勝手はどうだろうと思いつつ、皆さまのご意見を伺っていろいろと考えています。ご意見をお寄せください。

9月に入りましたが、まだまだ暑い日が続いております。みなさま如何お過ごしでしょうか。

10周年を記念して学級長の城井さんが描いて先生に送られた絵



パソコン教室



初級 A	第1・3 月曜日	14:00~16:00
初級 B	第1・3 火曜日	14:00~16:00
中級	第1・3 火曜日	10:00~12:00
上級	第1・3 木曜日	10:00~12:00
会費	1回	500円
講師	後藤厚子	

パソコンの初級者から上級者まで進路に応じて指導します。

初級者は文章と画像をマスター。中級者は図形や表の編集テキストボックスの利用など。上級者は、縦書きや横書きに挑戦、その他文開始位置を下げたり、文末の位置を上げるなどの設定ができ、自分で編集ができるようになります。



【お詫びとお知らせ】

夏真盛りに長雨が続き、梅雨を思わせるような日々が続きました。このような経験は初めてです。作物の生育が危ぶまれます。この長雨の影響で、犬飼公民館の体育館の雨漏りが一層ひどくなり、床も一部で盛り上がりが生じ使用が難しくなっていました。ご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

公民館の図書室が広くなりました。
 新しい本もそろえていきます。
 どうぞ、ご利用ください。
 また、リクエストをお待ちしております。



8月にそろえた本
 8冊を紹介します。

・曲亭の家

西條奈加

当代之の人気作家・曲亭（滝沢）馬琴の息子に嫁いだお路。作家の深い業にふり回されながら、己の道を切り開いていく。

横暴な舅、病持ち・癩癩持ちの夫と姑……修羅の家で見つけたお路の幸せとは？



・アウシュヴィッツの画家の部屋

大内田わか

アウシュヴィッツ強制収容所。そこに、収容されていたポーランド人画家たちが絵を描いていた事実があったと言ったら、信じるだろうか。

本書はアウシュヴィッツ強制収容所で命と引き換えに、絵を描いてきたポーランド人画家たちの運命を伝えるとともに、ナチスや戦争の真実に迫る一冊。

・お探し物は図書館まで

青山美智子

ふとしたきっかけで町の小さな図書室を訪れた、立場も年齢も異なる5人の人物を通して、働くこと、生きていくことを見つめ直させてくれるあたたかな感動作です。



・ドキュメント

湊かなえ

全国大会を目指してドキュメント作品を作り始めるが、思わぬ人物の予期せぬ姿が撮影されてしまう。いったい誰が仕組んだ罠なのか。

・黒牢城

米澤穂信

天正六年の冬。織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠った荒木村重は、城内で起きる難事件に翻弄される。動揺する人心を落ち着かせるため、村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。戦と推理の果てに村重は、官兵衛は何を企む。

・リボルバー

原田マハ

誰が引き金を引いたのか？「ゴッホの死」。アート史上最大の謎に迫る、著者渾身の傑作ミステリ。生前顧みられることのなかった孤高の画家たちの、真実の物語。



・星おちて、なお

澤田瞳子

鬼才・河鍋暁斎を父に持った娘・暁翠の教奇な人生とは……。父の影に翻弄され、激動の時代を生き抜いた女絵師の一代記。（未入荷）

・パンどろぼう

柴田ケイコ

「パンどろぼう」って、なんにも読みな聞かせが楽しいユーモア絵本



編集後記

コロナウイルス感染症の流行が広がって心配されます。いつになったら終息するのでしょうか。毎日患者数が増えるニュースばかりですが、目に見えない菌に、マスクや手洗いを敢行する日々が続いています。

マスクが外せない毎日ですが、家に帰ってマスクを外すとホッとします。毎年お盆に帰宅していた子どもたちも、今年は「帰りたいけど、県外に行った者は、二週間会社を休んでください。」と言われたとか。

仕方がないのかもしれませんが、寂しい思いをしました。一日も早いコロナの終息と家族揃って集える日を持ち望んでいます。



羽田野